

11月7日藤里中学校、8日藤里小学校

次代を担う子どもの 文化芸術体験『落語体験』



1年間の努力を称え

【博士号課程修了証書受賞者】
・藤田列子(室岱)
【大学院課程修了証書受賞者】
・小石明靖子(荒町)
・石岡綾子(寺屋布)
・村美恵子(琴沢)

大學の閉校式が11月7日、総合開発センターにおいて行われました。式では、修了証(努力証4回)を受けた方々の代表者と、修士証(努力証6回)、博士号証(努力証8回)、大学院証(努力証12回)を受賞された方々に証書が授与されました。

また、午後からは、学習発表会が行われ、1年間学んだ踊りや民謡の学習成果を披露していました。

(敬称略)

大学の閉校式が11月7日、総合開発センターにおいて行われました。式では、修了証(努力証4回)を受けた方々の代表者と、修士証(努力証6回)、博士号証(努力証8回)、大学院証(努力証12回)を受賞された方々に証書が授与されました。

において、文化庁の事業「次代を担う子ども文化芸術体験」の一環として落語体験が行われました。

はじめに中学生、小学生の代表者がユニークな芸名をつけて登場し、この日のために練習した太鼓と落語を披露しました。

その後、落語芸術協会の雷門音助さん、三笑亭朝夢さん、翁家喜楽さん、三遊亭とん馬さんが落語や曲芸を披露し会場を盛り上げました。

宝くじ助成金

今年度、町では米田地区活動推進協議会(小山満敬会長)の要望を受けて、(財)自治総合センターの宝くじ助成事業(一般コミュニティ助成事業)を活用し、生活環境の整備のための除雪機、根城豊作相撲で使用する行司・呼出衣装一式やよさこい用の旗、そのほか地区活動の充実を図るためにバレー用具一式、ワンタッチイベントテント一式など、総額約285万円の備品を購入しました。

この事業により整備された備品を活用し、地区住民の連帯感や積極的な行事参加を図るとともに、コミュニティ活動のより一層の活性化が期待されます。

- ◇◇備品内訳◇◇
- ◎除雪機
- ◎行司・呼出衣装一式
- ◎よさこい用旗
- ◎バレー用具一式
- ◎ワンタッチイベントテント一式



本物の落語家のようにでした



みんなのわたい

《うちの家族を紹介します!》

- ◆細田ハナちゃん
ここで生まれて19年…
最近はジャンプが苦手です。
それでも日課の散歩と好物で毎日元気に過ごしています。

